



## 未来を見据えた学校づくり

校長 小林 理人

「積極的に挙手し、活発に意見の出る道徳の授業を初めて見ました。」

「みんなが集中して自分の考えを書いていました。書いている時の教室が静かで驚きました。」

これは、学校公開のアンケートにあった言葉やご参観いただいた方からの感想です。今年度、特に力を入れている「意欲的に学ぶ態度」や「自分の考えを表現する力」を育てる授業づくりの成果に関する内容が少しずつ増えてきています。授業の様子や子供たちの姿を通して、保護者や地域の皆様にその成果を感じ取っていただけたことはとてもうれしいことです。

### 新しい学習指導要領に基づく教育目標

来年度から学校の教育活動や教科書、時間割などのより所となる学習指導要領が新しくなります。

新しい学習指導要領には、大きな変化が予想される未来を生き抜くために必要な力が具体的に示されました。また、そのために学校で指導する内容や指導方法なども紹介されています。

本校では、新しい学習指導要領に基づき、未来を生き抜くために必要な力を、本校の教育目標である「かしこく」「つよく」「あたたかく」の3つの目標に整理し、「**学校で身に付ける力**」(別紙参照)としました。そして、「自分の考えを書いたり、進んで発表したりすることが苦手」といった児童が多い実態から、「意欲的に学ぶ態度」や「自分の考えを表現する力」を育てることを教育目標の重点とし、様々な取組を行っています。学校公開で見ていただいた授業もその取組のひとつです。

また、この他にも教育目標の達成をめざし、教育活動の見直しや新たな取組の計画を進めています。

### 新しい学習指導要領の内容と学校の取組

学習指導要領に示された未来を生き抜く力を育てるためには、学校で身に付けた力を家庭や地域で活用できるようにしたり、発揮された場面で賞賛したりすることがとても大切になります。そこで、7月の保護者会では、文部科学省が作成したパンフレットをもとに、学習指導要領の内容や、それを踏まえて進めている以下のことについて、学年や学級の取組を中心に担任から説明をさせていただきます。

#### ○学校で身に付ける力の明確化

教育目標「かしこく」「つよく」「あたたかく」の達成をめざした取組

#### ○主体的・対話的で深い学び

子供が自ら課題を持ち、友達と関わりながら考えたり、考えを表現したりする授業づくり

#### ○カリキュラムマネジメント

教育活動の質を向上させ、学習効果を高めるために、教科間や家庭等との関連を図りながら進める学習

#### ○新しい学習や取組

外国語教育や道徳教育などの新たな教科や重視する内容

#### ○新しい枠組みづくり

教育目標の実現をめざした授業や新たな取組を充実させるための枠組みづくり

2月には、国立市の研究奨励校として、新しい学習指導要領に基づく研究発表を予定しています。

また、2学期の運動会や学芸会では、新しい学習指導要領の内容や、学校を取り巻く社会の現状に合わせた見直しも行っています。そして、子供たちや皆様からの意見や感想等をもとに次年度の計画をつくり、子供たちの夢が実現し、生き生きと活躍する未来を見据えた学校づくりを進めていきます。